

# 地域おこし協力隊 着任のごあいさつ

4月1日から新隊員6人が加わり、13人で活動しています。今回は、2人の方をご紹介します。



みなとオアシス佐渡  
両津推進担当  
かさい 直樹さん  
笠井

佐渡の皆さま、こんにちは。

4月から地域おこし協力隊として着任しました佐渡出身のUターン笠井直樹です。

高校卒業後、佐渡を離れ新潟市で美容師とブランドのプロデュースなどをしていました。船に乗ればすぐに来れる場所に居たにも関わらず、年4回ほどしか帰省しませんでした。申し訳ございません。きっと私のような佐渡出身者も多いのではないのでしょうか。佐渡出身者にも、もう少し帰省の頻度を増やしてもらえらるようなことも今後の課題ではないかと思えます。

結婚式の仕事では佐渡出身者の方にも度々携わらせていただくこともありましたが、しかし「佐渡ではオシャシな結婚式ができないから」などの声を聞き、佐渡には美しい景色も

いっぱいあるのにどうかいかせなかな、もっと感動させることができなのかなと、これまでの経験をいかし「佐渡で挙げたくなる結婚式」やそれに紐づくイベントで少しでも佐渡に人が来ていただけるように今あるものにも、もっと肉付けしてより良いものにしていきたいです。

着任早々「メイド・イン・サドブランドカタログギフト」の案を作成中です。「こんなに良いものがあるよ」「こんなアイデアはどう」などありましたらいつでも声をかけてください。

これから多くの方の助けも借りながら、佐渡の表玄関である両津の「みなとオアシス事業」やイベントをより魅力的にすること、「ブランド」を通して、佐渡で生活する方のみならず、外から人を呼び込むことに尽力し、佐渡の活性に寄与できればと思います。これからよろしくお願ひします。

## 「地域おこし協力隊ブログ」

随時更新中！

<http://sado-chiiki-okoshi.blog.jp/>



小木町・宿根木地域担当  
いわせ 祥子さん  
岩瀬

4月から小木地区の協力隊に着任しました岩瀬祥子と申します。

大阪府豊中市で生まれ育ちました。高校を卒業後、北海道の大学に進学し、アウトドアの分野を専攻しました。夏休みに農家でアルバイトをしたことがきっかけで農家の暮らしに興味を持ち、休学して日本各地の農山村を2年かけて回りました。

11カ所に滞在したうちの1カ所が佐渡で、初めて佐渡を訪れたのもこの時です。その年の夏と秋に、それぞれ3週間ほど滞在しました。それまで抱いていた佐渡に対するステレオタイプなイメージは払拭され、ゆるやかな島国の暮らしに魅力を感じました。とは言っても、この春に引越してきたので、実は佐渡の冬を知りません。いいところばかりだけではなく、厳しいところもこれから

知って、経験していくのだと覚悟しています。

大学を卒業後は、農業雑誌の出版社やまちづくり会社、酒造会社に勤めました。いろいろと寄り道をした経験が、今の土台になっています。

そして結婚を機に、独立就農を目指す夫とともに、農ある暮らしを実現しようとして佐渡への移住を決めました。

魅力的な島でありながら、佐渡はまだまだ知られていません。驚いたことに、大阪の知人に移住の報告をした際、「佐渡って新潟県のどのあたり？え？島！？」という反応がいくつもあったのも事実です。

外から来た者の目線で、住んでいる皆さんに佐渡の魅力をお伝えし、島外へも佐渡の住み良さを発信していきたいと思えます。元気な地域を次の世代に残せるよう、地域の、佐渡の取り組みに協力し隊！任期後のことも見据えて奮闘中です。

◆市役所産業観光部地域振興課  
地域振興係 ☎63 | 4 1 5 2